

科目名称	臨床看護概論 I	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期		29
担当教員	上野 理江	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

看護の視点で健康障害をとらえ、看護の基本として様々な健康上のニーズをもつ、あらゆる年齢層の人々に既習の基本的な看護の考え方や、知識・技術を統合して応用するプロセスを学習する。

健康障害をもつ患者とそれを支える家族が身体的・精神的・社会的にどのような援助を必要とするようになるかを、多角的に学習する。

【2】 学習目標

1. 健康障害をもつ患者と家族について理解できる。
2. 疾病の経過(急性期・慢性期・回復期リハビリテーション期・終末期)における患者の心理と特徴、看護のポイントを理解できる。
3. 健康障害に対してよく用いられる治療や処置の特徴を理解し、それらを受ける患者の看護のポイントを理解できる。

【3】 ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	第1章 臨床看護の特徴	講義・患者体験レポート
2	第2章 臨床看護活動と患者・家族の理解	講義 グループワーク
3	第3章 健康状態(レベル)の経過に伴う看護 健康状態(レベル)の経過と看護、健康の保持・増進・予防の看護	講義
4	急性期にある患者の看護	講義 DVD 事例演習 (慢性期・終末期 レポート)
5	回復期リハビリテーション期にある患者の看護	
6	慢性期にある患者の看護	
7	終末期にある患者の看護	
8	危篤時・死への看護	
9	第5章 治療・処置に伴う看護 安静療法・食事療法・薬物療法・輸液療法を受ける患者の看護	講義
10	放射線療法・精神療法・検査を受ける患者の看護	講義
11	手術療法を受ける患者の看護 手術療法の目的と意義、術前患者の看護	講義 DVD
12	術中患者の看護、術後患者の看護	講義 DVD
13	日帰り手術を受ける患者の看護・手術室の設備・環境、基本的無菌操作	講義 演習
14	救急処置を受ける患者の看護、ICUの看護	講義 DVD
15	試験	

【5】 評価方法

筆記試験(80%)、レポート(20%)により総合的に判断する。

【6】 教科書

中村恵子 他著「看護学入門7 基礎看護Ⅲ」第3版 メヂカルフレンド社 2024年

【7】 参考書

水戸優子 他著「新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論」医学書院 2024年

藤野彰子他 編著「新訂版 看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版 2024年

【8】 受講生へのメッセージ

- ・臨床看護への理解を深める授業です。楽しく学びましょう。
- ・教科書の該当ページ、を読んで講義に臨みましょう。
- ・看護概論、基礎看護技術、成人看護、老年看護、母子看護、精神看護で既習のもの、順次学習するものがあります。既習のものは復習しておきましょう。